

i. 登山靴

★step1 - 汚れを落とす -

- ・ 便利♪なスプレーを使えば、尚よいと思われませんが・・・

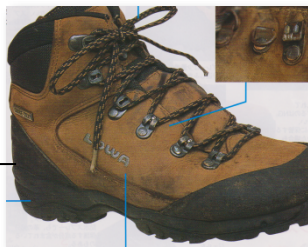
出費が痛いというそのあなた!!!



最低限目につく汚れはブラシなどでおとし、消臭効果も見込んで一晩水につけておきましょう。(by 岩見さん@新研)

★step2 - チェック -

- ・ 靴ひも：ほつれや切れ目がないかを確認する。
 - * チェックした時に問題がなくても、鋭利な岩などにすれて切れる場合もあるので山行中はスペアを持っていくのがベスト!
- ・ 金具：さびや破損がないかを確認する。
 - * さびが付着してささくれだった金具は、靴ひもにもダメージを与える。また、一見ついているようにみえても、靴ひもをしめたときにとれてしまうことがあるので、靴ひもなどをつかって一個ずつ引っ張って確かめるとよい。
- ・ ソール：靴本体とソールとの接着面に、汚れや亀裂がないかを確認する。
 - * 新品時と比べて明らかにグリップ力が落ちたと感じた時には、張り替えるようする。



★step3 - 乾燥 -

- ・ _____ 避け、_____ 良いところで干す。新聞紙などをつめながら。

★step4 - 防水&栄養 -

と、その前に?!

上から、

a.革製 b.ヌバック製 c.布革コンビ製

- ・ それぞれのケアについて

a. 革を使った登山靴には、革の表面と革芯に栄養と防水性を与える必要がある。

そのため、浸透性があり、防水効果の高いクリームタイプがよい。

注) 塗りすぎると革が呼吸できなくて腐ってしまう

簡単に済ませたいときは、革用防水スプレーも便利らしいです。

b. ヌバック革のような、革の表面を起毛させたタイプの靴には、革の風合いを損な

わないために、スプレータイプか←タイプよりも長期間保護するジェルタイプが有効的！

注) 浸透性の高い防水・栄養クリームを塗ると、革の風合いが変わってしまう

c. 合成繊維素材と、補強部に革素材を使ったコンビ靴には、通気性を損なわない防水スプレーか(革の保護成分を含んだもの)がおススメ！！

★step5 - 保管 -

- ・ 高温多湿は大敵！！ ビニール袋などいれて保管するのもNG！！
- ・ 直射日光の当たらない風通しのよいところで、保管しましょう。

ii ザック

☆step1- 汚れがひどくない場合 -

- ・ ブラシなどで汚れをしっかりおとす！→汚れたまま放置していると、生地の中に入り込んだ汚れからカビがはえてくることも・・・



☆step2- それでもおちない、そんな時！！ -

- ・ 生地を傷めないために、真水か__性洗剤をしみ込ませたスポンジか布で汚れを洗う。
- ・ 浴槽などをつかって、ザック全体を洗う。
 - * この時、背面調整機能なの、金属パーツは外しておいたほうが洗いやすく、乾きも速い。

☆step3- ★step3,★step5に同じく！！ -

(完)